

記入の際の参考にしてください

事業計画書

事業推進委員会で使用しますので、パソコン入力・わかりやすい文字でご記入願います。

事業区分 (該当項目にチェック・複数可)	<input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 社会参加 <input type="checkbox"/> 非行防止 <input type="checkbox"/> リーダー養成 <input type="checkbox"/> 自立支援 <input type="checkbox"/> 国際交流 <input type="checkbox"/> 世代間・地域間交流				
事業予定日	令和 年 月 日 () 午前・午後 ・ 未定(大体 ころ) ※数日にわたる事業の場合は詳細を別紙に記入してください(自由様式)				
実施場所	(住所:)				
参加予定者	※参加予定人数を記入 (複数回事業の場合は延べ人数を記入)	対象参加者等	対象参加者の属性を記入ください。		
過去に助成の有無	これまでに「ひょうご子ども・若者応援団」一般助成事業申請の有無について(有・無)いずれかに○印を記入してください。 (有 ・ 無) / 有の場合その申請年度()				
事業の趣旨・目的	<input type="checkbox"/> 該当項目にチェック <input type="checkbox"/> 新しい取り組みの事業 <input type="checkbox"/> 従来の事業に工夫を加えたもの				
	※申請する事業がどのように青少年の健全育成に繋がるのか、事業参加の青少年が体験活動を通じて、どのような事を感じ、身につけることを目的としているのか等を記入してください。				
具体的事業内容	継続事業については、具体的に新たな工夫点等を付け加えてください。 ※下記内容を具体的に記入してください。 ・事業開催の場所、またその場所を選んだ理由 ・参加青少年の募集方法(団体の構成員のみの事業は対象外です) ・外部講師等謝金を支払う方の属性等、また必要な理由 ・事業の実施計画、進行スケジュール ・継続事業については、今回新しく取り入れる試みや工夫点				
助成金を受けることによる新たな工夫、及び追加・拡充内容	※この助成金を受けることによって、事業内容をどのように工夫できるのか、青少年の体験活動をどのように深めることができるのかを具体的に記入してください。 ※今回の事業が2回目以降の申請になる団体は、実施内容について、前回に比べ新たにどのような工夫を加えるのか、具体的に記入してください。				
事業実施による今後見込まれる青少年育成効果	※事業に参加した青少年にその後どのような育成効果を期待するのかを具体的に記入してください。				
連絡先等	住所	〒 ※郵送物はこちらに記入いただいた住所へお送りいたします。		TEL	
	氏名		役職	E-mail	

※必ず連絡を取ることができる電話番号・メールアドレスをご記入願います。

記入例

収支予算書

申請事業に要する経費を全て(助成対象経費とそれ以外を区分して)記載してください。

1 収入の部

費目	金額(円)	内訳
参加者負担金	32,000	参加費:大人@600×20=12,000・子ども@400×50=20,000
自己資金	36,900	※千円未満切り捨て
助成金	100,000	「ひょうご子ども・若者応援団」助成金
その他収入	20,000	企業寄付金:@10,000×2口
合計(※1)	188,900	

2 支出の部

費目	予算額(円)		内訳
		うち助成分	
謝金	45,000	33,000	※助成額は、対象経費合計の1/3以内の額で、33,000円を限度とする。 外部講師(英会話) 5,000×3名×3回=45,000
旅費	11,000	11,000	※助成額は、対象経費合計の1/2以内の額で、50,000円を限度とする。 外部講師 1,800(往復)×3名×1回=5,400 スタッフ 800(往復)×7名×1回=5,600
印刷製本費	12,500	12,500	※助成額は、対象経費合計の1/3以内の額で、33,000円を限度とする。 募集チラシ印刷費約5円×2,500部=12,500
同額 需用費	7,000	7,000	調理実習食材費 6,000 消耗品(コピー用紙・のり・セロテープ類) 1,000
役務費	26,400	23,750	募集チラシ郵送代 82×200=16,400 行事保険料@125×80=10,000
使用料	16,000	13,750	会場使用料 16,000
その他経費			
対象経費合計	116,900	100,000	
対象外経費	72,000		弁当代@450×80=36,000・飲み物代 10,000 景品、講師土産代等 26,000
合計(※2)	188,900		

購入を予定されている物品の内訳の記入もお願いします。
採択後は、原則収支予算書にある経費が対象となります。

(注1)収入の部「助成金」は、千円未満切り捨て

(注2)支出欄の費目は募集要領の8(1)「助成対象経費」および8(2)「助成対象外経費」を参考にしてください。

(注3)収入の部「合計(※1)」と、支出の部「合計(※2)」は一致する。

(注4)「収入の部」・「支出の部」の記載方法は、別添の記入例を参照してください。